

学校運営協議会議録

開催日時	令和8年2月13日(金) 9時30分～12時00分
会場	北海道小平高等養護学校 視聴覚室
項目	概要
	司会：地域コーディネーター 高橋知希
1 校長挨拶	校長による挨拶（校長：齋藤利文）
2 説明Ⅰ	令和7年度 北海道小平高等養護学校 学校評価について(教頭：三浦智子) 資料を活用して「学校評価」について説明した。「①思考力・判断力・表現力の育成について、②ICT機器の目的について、③人材育成に関することについて」は協議の中で意見をいただくこととした。
3 説明Ⅱ	令和7年度を終えて(総括)(校長：齋藤利文) スライドを活用して本校の教育課程の改善等について説明した。また、デジタル化による今後の教育動向について話題提供した。
4 協議	出席いただいた委員全員で協議を実施した。 【学校評価】 教育関係者 ・ICTの活用は学校職員と寄宿舎職員で目的や内容が異なる部分もあることから、質問を分けても良いのではないかと。 【思考力・判断力・表現力の育成、ICT機器の目的】 学校 ・ICT利活用の程度は教職員によって差があるが、理解して ・製品の販売会でも電子決済を使えるようになると良い。 ・ICT機器の活用によりAIなどで物事の答えはすぐに出るが、理解できていない場合があるため知識を得られる指導も大切。 保護者 ・近年デジタル化が進み子どもたちの身近にスマホがあるが、AIが必ずしも正しい訳ではないため判断する力が求められる。 地域 ・店舗の会計でソフトを利用している。 ・AIが身近となり、どのように商売に活用できるか検討していく必要がある。 ・小平町では予算で専門の職員を雇用している。 教育関係者 ・大学の願書がデジタル化され、紙が廃止となった。 【人材育成】 地域 ・雇う側からすると人間性が大切だと感じる。 ・最低限WordやExcelを活用できる人材だと助かる。 ・地域には100名程度の外国人労働者がいる。 ・本管内唯一の特別支援学校のため、意義がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でも地域の産業に結びつく学科があると助かる。 ・初山別には全国の引きこもりの子などを受け入れて就労に結びつける特例子会社があるようだ。 <p>教育関係者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内向けの若手職員のレベルアップにつながる仕掛けを作れると良い。 ・各学校の特別支援教育の支援体制が整備されることが大切。 ・上川管内では特別支援学校のコーディネーターが学校外に出ることが少なくなり、特別支援教育の中核としての力が減少することを懸念するとともに、高い専門性をもった方からの知識の伝達がなくなることを寂しく感じる。 ・大学では、教職において特別支援教育が必修となってきた。
5 見学	<p>授業見学</p> <p>全学年の総合学習成果報告会を見学した。</p>
6 校長挨拶	<p>校長による挨拶 (校長：齋藤利文)</p>